

研究業績報告 2002 - 2006年度		伊藤明生 教授					
単行本							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
論文・記事							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
従順(ὐβριση)と信仰(πίστις)	EXEGETICA	第12号	聖書釈義研究会	2001.12.			
「イスラエルはみな救われる」	EXEGETICA	第13号	聖書釈義研究会	2002.12.			
聖書、どう読み、どう語るか。: 聖書解釈学入門	基督神学	第15号	東京基督神学校	2003.3.			
「心」と「口」: ローマ書10章をめぐり	EXEGETICA	第14号	聖書釈義研究会	2003.12.			
NOMOS (TWN) ERGWN and NOMOS PISTEWS: The Ben Witherington III with Darlene Hyatt, Paul's Letter to the Romans: A Socio-Rhetorical Commentaryの書評	Novum Testamentum	XLV, 3	Brill	2003			
ga/rの翻訳再考: 新改訳を中心に	EXEGETICA	第15号	東京基督教大学	2005.3.			
The Written Torah and the Oral Gospel: Romans 10:5-13	Novum Testamentum	第16号	聖書釈義研究会	2005.12.			
Mark Reasoner, Romans in Full Circle書評	Novum Testamentum	XLVIII, 3	Brill	2006			
	キリストと世界	第17号	東京基督教大学	2007.3			
出席学会等							
* 使用資金: A = 外部資金(資金名)、B: 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C: 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
聖書釈義研究会	2001	川崎市民プラザ	聖書釈義研究会	B 国内研究旅費	有	従順(ὐβριση)と信仰(πίστις)	
聖書釈義研究会	2002	川崎市民プラザ	聖書釈義研究会	B 国内研究旅費	有	「イスラエルはみな救われる」	
聖書釈義研究会	2003	川崎市民プラザ	聖書釈義研究会	B 国内研究旅費	有	「心」と「口」: ローマ書10章をめぐり	
日本新約学会大会	2003	南山大学	日本新約学会	B 国内研究旅費	無		
日本新約学会	2004	明治学院大学	日本新約学会	B 国内研究旅費	有		

聖書釈義研究会	2004	川崎市民プラザ	聖書釈義研究会	B 国内研究旅費	有		
日本新約学会大会	2005	同志社大学	日本新約学会	B 国内研究旅費	有	パウロ書簡の議論の流れに見る小辞ga/rの用法について	
International meeting of SBL	2005.6.26-7.1	Singapore	Society of Biblcal Literature	B 国外研究旅費	有	The Use of α in the Argumentative Flow of the Pauline	
聖書釈義研究会	2005	川崎市民プラザ	聖書釈義研究会	B 国内研究旅費	有		
日本新約学会大会	2006.9.14-15	敬和学園大学	日本新約学会	B 国内研究旅費	有	旧約聖書からの引用: 音声文化 ( orality ) と文字文化 ( literacy ) との	
Orality, Literacy, Memory	2006.7.4-7.8	University of Auckland	Orality and Literacy	B 国外研究旅費	有	Scriptural Citations in the New Testament: Orality, Literacy, Memory	
聖書釈義研究会	2006.8.28-30	川崎市民プラザ	聖書釈義研究会	B 国内研究旅費	有	新約聖書の「死後の世界」	
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>				研究会 (参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか			
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		

研究業績報告 2002 - 2006年度		稲垣久和 教授・共立基督教研究所長			
単行本					
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考
福音を生きる - 文化の形成をめざして -	キリスト教世界観と文化 現代の科学思想	稲垣久和監修	いのちのこ とば社	2002	キリスト教から福祉・カウンセリ ング・性・科学・美術という各文化領域 に迫る
キリスト教辞典	科学論争史・コペルニクスの地動 説・・オランダのキリスト教哲学・ 他	大貫隆・名取四郎・他編	岩波書店	2002	17世紀の近代科学論争と20世紀のオラ ンダのキリスト教哲学の展開について
日本における公と私(公共哲学・第3巻)	日本の宗教状況における公・私と公 共性	佐々木毅・金泰昌編	東京大学出 版会	2002	日本の公と私の思想史の中に宗教がど のような位置づけを持つかを探求
21世紀公共哲学の地平(公共哲学・第10巻)	公と私と超越	佐々木毅・金泰昌編	東京大学出 版会	2002	「公共哲学」シリーズ第10巻に掲載さ れた13篇論文の論評
地球的平和の公共哲学	文明・宗教間対話とシャローム公共 哲学	公共哲学ネットワーク編	東京大学出 版会	2003	9・11テロリズムによって宗教原理主 義の勃興が問われている。宗教とは何 か
戦争と追悼	公共性から新追悼施設を考える	菅原伸郎編	八朔社	2003	内閣官房長官から出た靖国代替施設と しての国立追悼施設の公共的意味
自治から考える公共性(公共哲学・第11巻)	教会の自治	西尾勝・小林正弥・金泰昌 編	東京大学出 版会	2004	自治は日本で地方自治のみ考えらてい るが西洋は教会の自治から始まった
宗教と公共哲学 - 生活世界のスピリチュアリティ -			東京大学出 版会	2004	筆者の公共哲学を認識者の地平・私人 の地平・公共世界と分けて展開した
宗教から考える公共性(公共哲学・第16巻)	宗教と政治 - アメリカの市民宗教	稲垣久和・金泰昌編	東京大学出 版会	2006	神道、仏教、新宗教、イスラーム教、 キリスト教の研究者の発題と討論
靖国神社「解放」論 - 本当の追悼とは何か?			光文社	2006	日本の政治と外交に絡まった靖国神社 を公共哲学から捉え新たな解決を出す
Moving Towards a New Vision - Christian Higher Education in Asia-Oceania	Christian Higher Education for Dialogue between Christian and Non-Christian	J. Dinakarlal	IAPCHE	2006	

論文・記事							
タイトル		発表媒体（学会誌・雑誌名等）		巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考
Person and Freedom in Religio-scientific Realism		キリストと世界		12号		2002	
公共哲学と宗教の複雑さ		明学キリスト教研究所紀要		35号		2003	
国民主権から領域主権へ		キリストと世界		13号		2003	
Person, Society and Religions		Exchange		32, No.2		2003	
Others and the Japanese Religions		キリストと世界		14号		2004	
「科学的神学」と公共哲学		改革派神学		31号		2004	
スピリチュアリティと制度化		立教大学キリスト教学会誌		46号		2004	
福祉のキリスト教哲学序論		キリストと世界		15号		2005	
Today's well-being through dialogue between Christian and Non-Christian		キリストと世界		16号		2006	
市民的公共性と戦後和解		カルヴィニズム		24・25号		2006	
「市民的公共性の新たなる選択」「公共の記憶と公共宗教」「戦争の記憶と“日本の伝統”」「キリスト教福祉と公共哲学」「スピリチュアリティは科学として検証可能か」「市民の政治参加の根拠」ほか その他		『共立研究』および『Emergence 創発』		9巻3号 - 12巻1号	共立基督教研究所	2004-2006	
出席学会等							
*使用資金：A = 外部資金（資金名）、B：本学の研究費（特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別）、C：私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
その他の研究活動・社会的活動							
研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか							
「宗教の公共性研究会」「科学と宗教研究会」「キリスト教公共福祉研究会」「宗教間協力と平和研究会」（以上、共立基督教研究所）「NPO公共哲学研究会」（NPO公共哲学研究会）							
外部研究費							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		

研究業績報告 2002 - 2006年度		岩田三枝子 講師					
<b>単行本</b>							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
アリストター・マクグラス『神の科学』			教文館	2005.5	翻訳(序~3章8節)		
アリストター・マクグラス『キリスト教の霊性』			教文館	2006.2	翻訳(2章~5章)		
<b>論文・記事</b>							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
<b>出席学会等</b>				*使用資金：A = 外部資金(資金名)、B : 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費			
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
Moving Towards a New Vision	2005.1.13-17	インド、チェンナイ	International Association for the Promotion of Christian Higher Education	B国外研究旅費	有	The Christian Worldview Education In Japanese Context	
日本基督教学会学術大会	2004.10.9-10	東京女子大	日本基督教学会	B国内研究旅費	無		
国際宗教学宗教史会議世界大会	2005.3.24-30	高輪プリンスホテル	日本宗教学会	B国内研究旅費	無		
生きるスピリチュアリティを求めて	2005.3.11	カテドラル大聖堂	キリスト教社会福祉実践会議	B国内研究旅費	無		
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>				研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか			
宗教の公共性研究会、科学と宗教、キリスト教公共福祉研究会(ともに共立基督教研究所)							
2004/10/23 科学と宗教研究会発表「『神の科学』3 実在・第7章神学と自然科学における合理性と知識」							
2006/4/7 公共福祉研究会発表「稲垣久和氏論文へのレスポンスとして」							
2007/11/1 公共福祉研究会発表「Nel Noddings, Starting at Homeを読む」							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況				

<b>研究業績報告 2006年度</b>		<b>岡村直樹</b>		<b>准教授</b>			
<b>単行本</b>							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
<b>論文・記事</b>							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
<b>出席学会等</b>							
*使用資金：A = 外部資金(資金名)、B：本学の研究費(特別研究費、サパティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C：私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか							
クレアモント大学院神学部客員研究員、科学と宗教研究会(共立基督教研究所)							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況				

研究業績報告 2006年度		金子 毅		助手			
単行本							
書名	タイトル(共著等の場)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
オカルトの帝国 - 1970年代の日本を読む	第一章 オカルト・ジャパン・シンдрーム - 裏から見た高度成長	一柳廣孝編	青弓社	2006	日本のオカルトの誕生とその変遷を、特に公害という高度成長の暗面に着目しながら考察した。公害病に対する「奇病」のステイグマが「奇形」というメディア現象と結びつき、さらに怪奇(外見)と恐怖(心理)の二元化へ、恐怖の外部世界 内部世界という二極化へという過程をへて、オカルトが消費の対象となるまでを論じた。担当部分「第1章 オカルト・ジャパン・シンдрーム-裏から見た高度成長」(17-37頁)		
論文・記事							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
中牧弘允『会社のカミ・ホトケ』(書評)	神社新報	第2828号	神社新報社	2006.3.20			
新刊紹介:『矢野敬一『慰霊・追悼・顕彰の近代』(新刊紹介)	口承文芸研究	第30号	日本口承文芸学会	2007.3.31			
* その他							
出席学会等							
*使用資金: A = 外部資金(資金名)、B: 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C: 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
第14回「宗教と社会」学会学術大会	2006年6月4日	同志社大学	「宗教と社会」学会	B	有	日本的「安全」は救いか 高度成長からの問い直し	「日本の「安全」は救いとして感得され得るか? - 高度経済成長期における社員教育システムの検討から」『宗教と社会』第13号、「宗教と社会」学会(2007年6月掲載)

埼玉大学大学院夏季セミナー (文化人類学)	2006年7月8日	埼玉大学教養学部	埼玉大学 大学院		有	構築される「安全」の理念 - 高度 経済成長期における社員教育シス テムの検討を中心に -	「日本的「安全」は救 いとして感得され得る か? - 高度経済成長期 における社員教育シス テムの検討から」『宗 教と社会』第13号、 「宗教と社会」学会 (2007年6月掲載)
「宗教と社会」学会書評会	2007年3月24日	駒澤大学	「宗教と 社会」学 会プロ	C	有	池上良正、2006「近代日本の民衆 キリスト教」第四章 信徒たち の「救い」から	
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか							
平成17年度科学研究費補助金交付事業(基盤研究C) セーフティ・ファーストをめぐる職業倫理の構築 米国における技術文化スローガンの創始 (~平成19年4月)(研究代表者 金子毅、東京基督教大学神学部非常勤講師)							
主な参加研究会:キリスト教公共福祉研究会(東京基督教大学共立基督教研究所主催〔資金B〕)、歴史と人間研究会(一橋大学主催)、人文ネットワーク(榊新評論主催)、「宗教社 会」学会プロジェクト部会(平成18-19年度社会的コンテキストの中のキリスト教、平成18年度~、宗教の社会貢献活動:年4回開催)オカルト研究会(横浜市立大学一柳研究室・工学 院大学吉田司雄研究室、青弓社主催)、木曜会、世間話研究会(以上毎月参加)、柳田國男の会(年4回不定期開催)、近代社会史研究会(京都大学主催:遠方のため年1回参加)、科 学言説プロジェクト(平成16-19年度科学研究費補助金交付事業「近代日本における科学言説の浸透と変容をめぐる文化研究」:研究代表者 工学院大学吉田司雄教授、年1回開 催)、1930年代における大衆消費社会の生成とメディアをめぐる(平成18年度科学研究費交付プロジェクト研究会:於神戸女子大学、不定期開催〔資金B〕)、ジンメル研究会(金城 学院大学:副田義也主催、年1回定期大会開催)							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		
科学研究費補助金(2005-2007)	文部科学省	基盤研究C「セーフティ・ファース トをめぐる職業倫理の構築 米国にお ける技術文化スローガンの創始」			別紙		



研究業績報告 2002 - 2006年度		菊池 実		講師			
<b>単行本</b>							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
<b>論文・記事</b>							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
連載 「聖書の世界」考古学と地理の光をあてて	成長	100 - 119号	CS成長センター	2002年3月 - 2006年1月			
書評 Amihai Mazar 『聖書の世界の考古学』	クリスチャン新聞	2003年9月14日号		2003年9月			
オリエントの文脈に照らした「契約を『結ぶ』」行為	共立研究	第5巻3号	共立基督教研究所	2004年			
聖書考古学への視点	聖書の世界	14号	聖書考古学資料館	2005年			
ユダヤ人の歩んできた道	クリスチャン新聞		いのちのことば社	2005年			
平均的な教会への賛美の備え	礼拝音楽研究		礼拝音楽研究会	2005年			
<b>出席学会等</b>							
使用資金：A = 外部資金(資金名)、B : 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか							
2002年							
国立国会図書館聖書研究会連続講座(毎奇数月)							
聖書考古学セミナー(町田、土浦、豊田、甲府、京都)							
Jクリスチャンセミナー-夏期連続講座(横須賀)							
DJT講演会「現代イスラエルに対するクリスチャンの視点」御茶ノ水							
2003年							
国立国会図書館聖書研究会連続講座(毎奇数月)							
聖書考古学セミナー(安中、埼玉)							
Jクリスチャンセミナー 考古学連続講座 横須賀							

学園後援会講演会「イエスの歩まれた地 地理と考古学の視点から 」御茶ノ水			
キリスト者学生会「イスラエル・パレスチナ・キリスト者」講演 パレスチナ問題の歴史的背景、キリスト者の視点			
CS成長センターセミナー「地理と考古学から見た聖書の世界」（御茶ノ水）			
2004年			
国立国会図書館聖書研究会連続講座（毎奇数月）			
聖書考古学セミナー（安中、狭山、日野、長野）			
キリスト教学園後援会講演「ヘロデ大王とイエス」（御茶ノ水）			
Jクリスチャンセミナー考古学講演（横須賀）			
2005年度			
国立国会図書館聖書研究会連続講座（毎奇数月）			
高座エクステンション 聖書考古学（5回シリーズ）			
聖書考古学セミナー（茅ヶ崎）			
2006年度			
国立国会図書館聖書研究会連続講座（毎奇数月）			
聖書考古学セミナー（取手、岡山、横浜、国分寺）			
講演 考古学資料館講演会講演「イスラエルの地における埋葬習慣」			
<b>外部研究費</b>			
資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況

<b>研究業績報告 2002 - 2006年度</b>	<b>木内伸嘉</b>	<b>教授</b>	
-----------------------------	-------------	-----------	--

<b>単行本</b>					
A Study of <i>Hata'</i> and <i>Hatta't</i> in Leviticus 4 5			Mohr Siebeck, Tübingen	2003	通常「罪」「罪を犯す」と訳されているヘブル語 <i>Hata'</i> および <i>Hatta't</i> の再検討の結果、hide oneself, the state of hiding oneself を意味することを論じている。
Dictionary of the Old Testament: Pentateuch		ed. T.D. Alexander, D.W. Baker	InterVarsity , Downers Grove/Leicester	2003	「Leviticus, the book of」の項目を執筆
Leviticus			InterVarsity , Nottingham	2007.3	旧約聖書レビ記の、ヘブル語テキストに基づく、包括的な注解書

<b>論文・記事</b>					
タイトル	発表媒体（学会誌・雑誌名等）	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考
レビラート婚をめぐる救済観	Exegetica（聖書釈義研究会）	13号		2002.12	
「心の救い」への道ーレビ記 26章	Exegetica（聖書釈義研究会）	14号		2003.12	
訳語「和解のいけにえ」再考	Exegetica（聖書釈義研究会）	15号		2004.12	
Propitiation in the Sacrificial Ritual	東京基督教大学紀要	15号		2005.3	
レビ記におけるいくつかの少辞	Exegetica（聖書釈義研究会）	16号		2005.12	
「いのちの書」 聖書神学的考察	Exegetica（聖書釈義研究会）	17号		2006.12	
Living Like the Azazel-Goat in Romans 12:1b	Tyndale Bulletin	vol. 57		2006.11	

<b>出席学会等</b>							
* 使用資金：A = 外部資金（資金名）、B：本学の研究費（特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別）、C：私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考

**その他の研究活動・社会的活動**

研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか

**外部研究費**

資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況

研究業績報告 2002 - 2006年度		倉沢正則		教授、学長 (2006 - )				
<b>単行本</b>								
書名		タイトル (共著等の場合)		編者・共著者		発行元	発行年	要旨・備考
教会と国家		教会と国家 理解の歴史の変遷				日本福音同盟	2004	
原理主義		多神教は本当に寛容であるのか				日本福音同盟	2006	
<b>論文・記事</b>								
タイトル		発表媒体 (学会誌・雑誌名等)		巻・号・通巻号数		編集・発行	発行年月日	備考
An Evengelical Undrstanding of missio Dei in Cntemporary Japan		キリストと世界		13号		東京基督教大学	2003.3	
The Relerance of Evangelical Theology		Journal of Asian Evangelical Theology		Vol.13 No.		Asian Theologic al Associati on	2005.12	
草の根指導者育成に関する専門部会のまとめ		FCCブックレット		No.1		東京基督教大学国際宣教センター	2007.3.31	
<b>出席学会等</b>								
* 使用資金 : A = 外部資金 (資金名)、B : 本学の研究費 (特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費								
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考	
春期研究会 / 秋期研究会	2002.5.27, 11.18	東京	日本福音主義神学会東部会	C	無			
Korea-Japan Joint Theological Consultation	2005.6	東京	Asia Theological Association	C	有	missio Dei in contemporary Japan		
春期研究会	2003.5.12	東京	日本福音主義神学会東部会	C	無			
春期研究会 / 秋期研究会	2004.4.27, 11.8	東京	日本福音主義神学会東部会	C	無			
春期研究会	2005.6.20	東京	日本福音主義神学会東部会	C	無			

春期研究会 / 秋期研究会	2006.6.19 、 11.27	東京	日本福音主義神学会東 部会		無		
全国研究会	2006.7.1	東京	日本宣教学会		無		
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか							
「米国婦人―宣教団」についての調査研究（米国ホートン大学）							
「千葉キリスト教史研究会」（東京基督教大学 国際宣教センター） 2006.10、2007.2							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		



**その他の研究活動・社会的活動**

研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか

日本新約学会、福音主義学会、Society of Biblical Literature

**外部研究費**

資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況



研究業績報告 2002 - 2006年度		櫻井囃郎		教授		
単行本						
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考	
異教世界のキリスト教			いのちのこ とば社	2002		
メディアと広告			読売新聞社	2004		
「異教としてのキリスト教」からの脱却			リバイバル 新聞社	2004		
広告に携わる人の総合講座	広告の法と倫理		日本経済新 聞社	2005		
教会と宗教法人の法律			キリスト新 聞社	2007		
論文・記事						
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考	
論文						
救済の神学における「生命の木」の意味	福音主義神学	34号	日本福音主 義神学会	2003年11月		
マスメディアの信頼と広告責任	法政論集	201号	名古屋大学	2004年3月		
神への礼拝と死者の慰霊	キリストと世界	14号	東京基督教 大学	2004年3月		
「罪の赦し」の論理	基督神学	16号	東京基督神 学校	2004年3月		
家族の法と祖先崇拜	出会い	14巻3号	NCC宗教研 究所	2004年6月		
「宗教」の判断基準	キリストと世界	15号	東京基督教 大学	2005年3月		
基督者の密教入門	基督神学	17号	東京基督神 学校	2005年3月		
広告の社会的役割と社会的責任	日経広告研究所報	221号	日経広告研 究所	2005年6月		

宗教法人法における宗教団体と宗教法人	宗教法	24号	宗教法学会	2005年11月	
空海入唐の道と中国における宗教復興	キリストと世界	16号	東京基督教大学	2006年3月	
永遠の生命	基督神学	18号	東京基督神学校	2006年3月	
ペット供養課税、控訴審も認容、これは宗教界の一大事！	寺門興隆	6月号	興山社	2006年5月	
ペット供養課税処分取消訴訟判決と宗教判断基準 宗教法	宗教法学会	25号	宗教法学会	2006年11月	
個人情報保護法から一年	キリスト教年鑑	2007年版	キリスト新聞社	2006年11月	
公益法人改革三法の概要と問題点	キリストと世界	16号	東京基督教大学	2007年3月	
「さばき」の神学	基督神学	19号	東京基督神学校	2007年3月	
<b>裁判所提出の鑑定意見書</b>					
新聞社の広告責任（名古屋高等裁判所）					
宗教活動と収益事業とを判断する基準（名古屋高等裁判所）					
雑誌社の広告責任（東京高等裁判所）					
<b>記事</b>					
フランチャイザー批判本と名誉・信用毀損ノマスコミ法案内	宣伝会議	5月号	宣伝会議	2002年4月	
潜入ルポと建造物侵入罪ノ編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	5月号	宣伝会議	2002年4月	
産地を偽った広告ノ「広告と法」入門	月刊全広連	4月号	全日本広告連盟	2002年3月	
人権擁護法案とメディアノマスコミ法案内	宣伝会議	6月号	宣伝会議	2002年5月	
「噂の検証」という週刊誌の記事ノ編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	6月号	宣伝会議	2002年5月	
広告と契約	日経広告手帳	5月号	日本経済新聞社	2002年4月	
自民党の青少年有害社会環境対策基本法案ノマスコミ法案内	宣伝会議	7月号	宣伝会議	2002年6月	

個人情報保護法案の問題点とキリスト教界（上）	クリスチャン新聞	6月2日号	クリスチャン新聞	2002年6月2日	
「安心な広告」という広告 / 「広告と法」入門	月刊全広連	6月号	全日本広告連盟	2002年5月	
校正の法的効力 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	7月号	宣伝会議	2002年6月	
個人情報保護法案の問題点とキリスト教界（中）	クリスチャン新聞	6月9日号	クリスチャン新聞	2002年6月9日	
個人情報保護法案の問題点とキリスト教界（下）	クリスチャン新聞	6月16日号	クリスチャン新聞	2002年6月16日	
キリストの里・青森県新郷村・キリスト祭を訪ねて（上）	クリスチャン新聞	6月30日号	クリスチャン新聞	2002年6月30日	
中古ゲームソフトの転売と著作権 / マスコミ法案内	宣伝会議	8月号	宣伝会議	2002年7月	
匿名の投書による新聞記事 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	8月号	宣伝会議	2002年7月	
キリストの里・青森県新郷村・キリスト祭を訪ねて（下）	クリスチャン新聞	7月7日号	クリスチャン新聞	2002年7月7日	
主催者側のコメント / 教会は“政治”にどう関わるべきか？	リバイバル新聞	7月7日号	リバイバル新聞社	2002年7月7日	
サッカーW杯の「宗教」と「有事」	クリスチャン新聞	7月14日号	クリスチャン新聞	2002年7月14日	
プロバイダーの損害賠償責任の制限と発信者情報の開示 / マスコミ法案内	宣伝会議	9月号	宣伝会議	2002年8月	
「放置自転車」とは何か / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	9月号	宣伝会議	2002年8月	
「（国旗に対する）忠誠の誓い」違憲判決の意味 クリスチャン新聞	クリスチャン新聞	8月4日号	クリスチャン新聞	2002年8月4日	
パンフレットと異なる現物 / 「広告と法」入門	月刊全広連	8月号	全日本広告連盟	2002年7月	

キリスト教と法との関わり / キリスト者と法	キリスト者平和ネットニュースレター	27号	平和を実現するキリスト者ネットワーク	2002年8月	
武者小路千家家元と考える茶道とキリスト教	キリスト新聞	8月31日	キリスト新聞社	2002年8月31日	
特定電子メールの送信の適正化等に関する法律 / マスコミ法案内	宣伝会議	10月号	宣伝会議	2002年9月	
他誌からの安易な引用 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	10月号	宣伝会議	2002年9月	
新聞広告の信頼性を担保する広告掲載基準	j (オッホ)	9月号	読売新聞社	2002年9月	
美術雑誌の付録と潜在モデル / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	11月号	宣伝会議	2002年10月	
電子消費者契約法による契約の特例 / マスコミ法案内	宣伝会議	11月号	宣伝会議	2002年10月	
東洋の法意識 / キリスト者と法	キリスト者平和ネットニュースレター	29号	平和を実現するキリスト者ネットワーク	2002年10月	
織田無道住職、宗教法人乗っ取りで逮捕	クリスチャン新聞	10月13日号	クリスチャン新聞	2002年10月13日	
「日本の教会」の反省と自立 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	10月27日号	リバイバル新聞社	2002年10月27日	
独立行政法人等の情報の公開に関する法律 / マスコミ法案内	宣伝会議	12月号	宣伝会議	2002年11月	
諺の意味と編集者の思い込み / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	12月号	宣伝会議	2002年11月	
カタログ写真に写された背景の著作権 / マスコミ法案内	宣伝会議	1月号	宣伝会議	2002年12月	
集合郵便受けへのトラクト配布を考える (上)	リバイバル新聞	11月10日号	リバイバル新聞社	2002年11月10日	
集合郵便受けへのトラクト配布を考える (下)	リバイバル新聞	11月17日号	リバイバル新聞社	2002年11月17日	
「伝道」の転換 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	11月24日	リバイバル新聞社	2002年11月24日	

カタログ写真に写された背景の著作権 / マスコミ法案内	宣伝会議	1月号	宣伝会議	2002年12月	
鉄道会社のPR誌 読者の投稿を利用したら、盗作? / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	1月号	宣伝会議	2002年12月	
西欧の法意識 / 法とキリスト者	キリスト者平和ネットニュースレター	31号	平和を実現するキリスト者ネットワーク	2002年11月	
特定商取引法による電子メール広告の規制 / マスコミ法	宣伝会議	2月号	宣伝会議	2003年1月	
推理作家との独占書き下ろし契約 他誌のために大作を書いたら..... / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	2月号	宣伝会議	2003年1月	
「礼拝」の根本 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	1月5日号	リバイバル新聞社	2003年1月5日	
給与所得者の必要経費が認められる特定支出控除 クリスマス新聞	クリスマス新聞	1月26日号	クリスマス新聞	2003年1月26日	
改革され続けられなければならない教会 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	1月26日号	リバイバル新聞社	2003年1月26日	
無線局に関する情報の公表等 / マスコミ法案内	宣伝会議	3月号	宣伝会議	2003年2月	
イスラームは危険な宗教か? 報道から考える編集者の姿勢 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	3月号	宣伝会議	2003年2月	
民間習俗の意味と意義 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	2月26日号	リバイバル新聞社	2003年2月26日	
著作権における「編曲権」という新しい概念 / マスコミ法	4月の宣伝会議		宣伝会議	2003年3月	
新聞記事の要約編集出版 違法な盗用か? 合法的な引用か? / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	4月号	宣伝会議	2003年3月	
大学の自己点検・自己評価の一步	学園報	100号記念号	東京キリスト教学園	2003年3月1日	
日本人に独特の法意識 / 法とキリスト者	キリスト者平和ネットニュースレター	33号	平和を実現するキリスト者ネットワーク	2003年2月	

「桜の日」提唱 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	3月23日号	リバイバル新聞社	2003年3月23日	
内部告発者保護立法とマスコミ / マスコミ法	5月の宣伝会議		宣伝会議	2003年4月	
アメリカのイラク攻撃と宗教	クリスチャン新聞	4月6日号	クリスチャン新聞	2003年4月6日	
インターネット公開と著作権の主張 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	5月号	宣伝会議	2003年4月	
「姦淫の女」を読み解く / 法とキリスト者	キリスト者平和ネットニュースレター	35号	平和を実現するキリスト者ネットワーク	2003年3月	
「強いられた世界」の弱さ / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	4月27日号	リバイバル新聞社	2003年4月27日	
修正・個人情報保護法案 / マスコミ法	6月の宣伝会議		宣伝会議	2003年5月	
肥料の化学反応で入院・ガーデニング専門誌の責任 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	6月号	宣伝会議	2003年5月	
「白装束集団」の正体とは	クリスチャン新聞	5月18日号	クリスチャン新聞	2003年5月18日	
「神の言葉」の意味 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	6月1日号	リバイバル新聞社	2003年6月1日	
民間事業者による信書の送達に関する法律 / マスコミ法	7月の宣伝会議		宣伝会議	2003年6月	
国際交流のつもりが逆効果・差別用語不快用語 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	7月号	宣伝会議	2003年6月	
「聖なる地だから靴を脱げ」とは	キリスト者平和ネットニュースレター	37号	平和を実現するキリスト者ネットワーク	2003年6月	
悪霊との対決 / 異教としてのキリスト教からの脱却	リバイバル新聞	6月29日号	リバイバル新聞社	2003年6月29日	
武力攻撃事態法案とメディア / マスコミ法	8月の宣伝会議		宣伝会議	2003年7月	
人気のロックグループを特集した書籍・パブリシティ権 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	8月号	宣伝会議	2003年7月	
日本人の祈り / 「異教としてのキリスト教」からの脱却	リバイバル新聞	7月27日号	リバイバル新聞社	2003年7月27日	

映画の著作権の延長と学校教育における著作権の特例 / マスコミ法	9月の宣伝会議		宣伝会議	2003年8月	
「宗教ではない」と主張する「研究所」 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	9月号	宣伝会議	2003年8月	
おかしな政教分離 / 「異教としてのキリスト教」からの脱却	リバイバル新聞	8月24日号	リバイバル新聞社	2003年8月24日	
インターネット異性紹介事業を利用した児童の誘引等の規制 / マスコミ法	10月の宣伝会議		宣伝会議	2003年9月	
皇室報道の敬称・敬語 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	10月号	宣伝会議	2003年9月	
アラバマ州最高裁の「十戒」と政教分離	クリスチャン新聞	9月21日号	クリスチャン新聞	2003/9/21	
脱・1%思考 / 「異教としてのキリスト教」からの脱却	リバイバル新聞	9月28日号	リバイバル新聞社	2003/9/28	
プロバイダーに対する発信者情報の開示請求 / マスコミ法	11月の宣伝会議		宣伝会議	2003年10月	
生活情報誌のクーポン / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	11月号	宣伝会議	2003年10月	
健康増進法による虚偽誇大広告の禁止 / マスコミ法	12月の宣伝会議		宣伝会議	2003年11月	
コミュニティ情報誌を目指す市の広報紙 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	12月号	宣伝会議	2003年11月	
ダイオキシン報道による農家の被害の不法行為性 / マスコミ法	1月の宣伝会議		宣伝会議	2003年12月	
理論雑誌の編集者と執筆者 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	1月号	宣伝会議	2003年12月	
漫画による名誉毀損・肖像権侵害の成否 / マスコミ法	2月の宣伝会議		宣伝会議	2003年1月	
誤った遺言の知識 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	2月号	宣伝会議	2003年1月	
広告掲載基準の法的位置づけ	日経広告手帳	1月号	日本経済新聞社	2003年12月	
預言者にならいて	東京キリスト教学園HP		東京キリスト教学園		

肖像使用权の譲渡に肖像権者の承諾は必要か / マスコミ法	3月の宣伝会議		宣伝会議	2004年2月	
インターネットの通信販売と厄払い / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	3月号	宣伝会議	2004年2月	
貸金業を営む者に対する広告規制 / マスコミ法	4月の宣伝会議		宣伝会議	2004年3月	
TV放送のロックグループの出版化 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	4月号	宣伝会議	2004年3月	
合理的な根拠を欠く不当表示の規制 / マスコミ法 5月の宣伝会議	宣伝会議	2004年4月	宣伝会議	2004年4月	
掛け軸をかけた和室の写真 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	5月号	宣伝会議	2004年4月	
民具でおもう印西の昔	広報いんざい	4月15日号	印西市役所	2004年4月15日	
靖国参拝違憲判決・小泉首相の反応とキリスト者の対応	クリスチャン新聞	4月25日号	クリスチャン新聞	2004年4月25日	
不実証広告規制に関する指針 / マスコミ法	6月の宣伝会議		宣伝会議	2004年5月	
借りたイラストを素材に改変..... / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	6月号	宣伝会議	2004年5月	
クリスチャンは、何を基準に投票すべきか	幸いな人	6月号	小牧社	2004年5月	
郵便受けへのピラ配りは「正当な表現行為」か「住居等の侵入」か	クリスチャン新聞	5月23日号	クリスチャン新聞	2004年5月23日	
人権表現のタブー / プロが教える実践ルール50	7月の宣伝会議		宣伝会議	2004年6月	
医薬品や食品の広告表現 / プロが教える実践ルール50	7月の宣伝会議		宣伝会議	2004年6月	
音楽ファイルの交換による著作権の侵害 / マスコミ法	7月の宣伝会議		宣伝会議	2004年6月	
離婚報道はプライバシーの侵害か / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	7月号	宣伝会議	2004年6月	
性同一性障害者の性別の取扱いの特例 / マスコミ法	8月の宣伝会議		宣伝会議	2004年7月	



学会論文のインターネット公開…… / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	8月号	宣伝会議	2004年7月	
著作権法の改正 / マスコミ法	9月の宣伝会議	2004年8月	宣伝会議	2004年8月	
著作権の保護をめぐる諸問題 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	9月号	宣伝会議	2004年8月	
青少年健全育成条例による図書類の規制 / マスコミ法	10月の宣伝会議		宣伝会議	2004年9月	
痴漢報道による失職 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	10月号	宣伝会議	2004年9月	
「温泉」の適正な表示 / マスコミ法	11月の宣伝会議		宣伝会議	2004年10月	
アンケートに基づいて推奨された温泉 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	11月号	宣伝会議	2004年10月	
弁護士のモラルを批判する記事と名誉毀損 / マスコミ法	12月の宣伝会議		宣伝会議	2004年11月	
旅行雑誌に掲載された体験談 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	12月号	宣伝会議	2004年11月	
携帯電話の医用機器への影響 / マスコミ法	1月の宣伝会議		宣伝会議	2004年12月	
募集広告と異なった実際の日程 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	1月号	宣伝会議	2004年12月	
コンテンツ推進法 / マスコミ法	2月の宣伝会議		宣伝会議	2005年1月	
盗み見したアルバイトのネット公開 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	2月号	宣伝会議	2005年1月	
勧誘に関する特定商取引法の改正 / マスコミ法	3月の宣伝会議		宣伝会議	2005年2月	
着物の意匠を撮影した写真集 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	3月号	宣伝会議	2005年2月	
インターネット掲示板による名誉毀損 / マスコミ法	4月の宣伝会議		宣伝会議	2005年3月	
ラーメン店に潜入取材 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	4月号	宣伝会議	2005年3月	
公的給付受給者向けか資金広告の制限 / マスコミ法	赤の宣伝会議	4月15日号	宣伝会議	2005年4月	

内情を探った雑誌の記事・写真 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	5月号	宣伝会議	2005年4月	
個人情報の取扱の注意点を徹底確認	黒の宣伝会議	5月1日号	宣伝会議	2005年4月	
聖神中央教会事件と教会	リバイバル新聞	4月24日号	リバイバル新聞社	2005年4月24日	
個人情報保護法と教会(1) 教会も無関心ではだめ	クリスチャン新聞	4月24日号	クリスチャン新聞	2005年4月24日	
個人情報保護法と教会(2) 個人の人格尊重の理念を	クリスチャン新聞	5月1日号	クリスチャン新聞	2005年5月1日	
誤った放送による被害者の訂正放送請求権の存否 / マスコミ法	赤の宣伝会議	5月15日号	宣伝会議	2005年5月	
編集部の方針として変えられた題号 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	6月号	宣伝会議	2005年5月	
痩身美容食品広告の排除命令 / マスコミ法	赤の宣伝会議	6月15日号	宣伝会議	2005年6月	
住民基本台帳ネットワークと個人情報の保護(1)	Scan Security Management 110号	2005年6月14日号			
住民基本台帳ネットワークと個人情報の保護(2)	Scan Security Management 111号	2005年6月21日号			
大学から提供された入試問題集 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	7月号	宣伝会議	2005年6月	
新しい温泉表示の施行 / マスコミ法	赤の宣伝会議	7月15日号	宣伝会議	2005年7月	
「ペット供養」は宗教活動か? / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	8月号	宣伝会議	2005年7月	
書評: 『それでも神は実在するのか?』	クリスチャン新聞	7月24日号	クリスチャン新聞	2005年7月24日	
書評: 『キリスト教と日本人』	リバイバル新聞	7月31日号	リバイバル新聞社	2005年7月31日	
学校に行かないで得られる学位? / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	9月号	宣伝会議	2005年8月	
書評: 空海コレクション 1	セブンアンドワイ	7月29日	セブンアンドワイ	2005年7月29日	
携帯電話不正利用防止法の部分施行 / マスコミ法 赤の宣伝会議	8月15日号		宣伝会議	2005年8月	

自民党憲法改憲草案と信教の自由	クリスチャン新聞	8月21日号	クリスチャン新聞	2005年8月21日	
健康の増進効果をうたった食品 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	10月号	宣伝会議	2005年9月	
書評：『メイド・イン・ジャパンのキリスト教』	クリスチャン新聞	9月11日号	クリスチャン新聞	2005年9月11日	
改正風俗営業法案と広告の規制 / マスコミ法	赤の宣伝会議	9月15日号	宣伝会議	2005年9月	
米・「神の下に一つ」宣誓違憲訴訟	クリスチャン新聞	10月2日号	クリスチャン新聞	2005年10月2日	
セキュリティレベルの開示請求の可否 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	11月号	宣伝会議	2005年10月	
公益通報者保護法 / マスコミ法	赤の宣伝会議	10月15日号	宣伝会議	2005年10月	
個人情報と個人の秘密 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	12月号	宣伝会議	2005年11月	
文字・活字文化振興法 / マスコミ法	赤の宣伝会議	11月15日号	宣伝会議	2005年11月	
治療体験談を集めた自費出版のルポ本 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	1月号	宣伝会議	2005年12月	
改正・迷惑メール規制法の施行 / マスコミ法	赤の宣伝会議	12月15日号	宣伝会議	2005年12月	
治療体験談を集めた自費出版ルポ本 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	1月号	宣伝会議	2005年12月	
書評：『ローマ史の中のクリスマス』	リバイバル新聞	12月4日号	リバイバル新聞社	2005年12月4日	
改正・迷惑メール規制法の施行 / マスコミ法	赤の宣伝会議	12月15日号	宣伝会議	2005年12月	
個人情報保護法と個人の秘密および権利（1）	Scan Security Management 135号	2005年12月13日			
個人情報保護法と個人の秘密および権利（2）	Scan Security Management 136号	2005年12月20日			
「右側通行は安全」か？ / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	2月号	宣伝会議	2006年1月	
地域ブランド登録制度 / マスコミ法	赤の宣伝会議	1月15日号	宣伝会議	2006年1月	
絵画の写真を載せた通販カタログ / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	3月号	宣伝会議	2006年2月	
戸別チラシ投函と住居等侵入罪 / マスコミ法	赤の宣伝会議	2月15日号	宣伝会議	2006年2月	

道路にたてられた「最徐行」とは / 編集者のためのリーガル マインド養成講座	編集会議	4月号	宣伝会議	2006年3月	
電子商取引等に関する準則の改訂案(1) / マスコミ法	赤の宣伝会議	3月15日号	宣伝会議	2006年3月	
有給休暇の1日は8時間か24時間か / 編集者のためのリーガル マインド養成講座	編集会議	5月号	宣伝会議	2006年4月	
電子商取引等に関する準則の改訂案(2) / マスコミ法	宣伝会議	4月15日号	宣伝会議	2006年4月	
拾得者は著作権を取得するか? / 編集者のためのリーガル マインド養成講座	編集会議	6月号	宣伝会議	2006年5月	
報道の自由と取材源の秘匿 / マスコミ法	宣伝会議	5月15日号	宣伝会議	2006年5月	
望楼(ペット供養)	キリスト新聞	5月20日号	キリスト新 聞社	2006年5月20日	
宗教法人の原則非課税とは何か? = ペット供養課税問題 =	キリスト新聞	6月3日号	キリスト新 聞社	2006年6月3日	
望楼(ブックオフ・愛国心)	キリスト新聞	6月10日号	キリスト新 聞社	2006年6月10日	
登録商標と同じ雑誌記事のタイトル / 編集者のためのリーガル マインド養成講座	編集会議	7月号	宣伝会議	2006年6月	
放送関係業の実態と今後の法律・権利関係	宣伝会議	6月15日号	宣伝会議	2006年6月	
有名作家の著作、二社と出版契約 / 編集者のためのリーガル マインド養成講座	編集会議	8月号	宣伝会議	2006年6月	
望楼(ダヴィンチコード)	キリスト新聞	7月1日号	キリスト新 聞社	2006年7月1日	
読み聞かせ団体等による著作物の利用	宣伝会議	7月15日号	宣伝会議	2006年7月	
望楼(滋賀県知事)	キリスト新聞	7月22日号	キリスト新 聞社	2006年7月22日	

会見取材に基づく記事 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	9月号	宣伝会議	2006年7月	
書評：近藤勝彦『日本の伝道』	クリスチャン新聞	7月23日号	クリスチャン新聞	2006年7月23日	
「定年延長」などを定めた高年齢者唐雇用安定法 宣伝会議	8月15日号		宣伝会議	2006年8月	
望楼（日本沈没）	キリスト新聞	8月19日号	キリスト新聞社	2006年8月19日	
隠蔽された大学の不祥事を報道した月刊誌 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	10月号	宣伝会議	2006年8月	
全面的に改正された遺失物法	宣伝会議	9月15日号	宣伝会議	2006年9月	
望楼（ピラ配り無罪判決）	キリスト新聞	9月16日号	キリスト新聞社	2006年9月16日	
応報刑主義？ 教育刑主義？ 贖罪刑主義……？ / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	11月号	宣伝会議	2006年9月	
教会に求められる真の権威の回復	牧会ジャーナル	2006年秋号		2006年9月	
望楼（出口のない海）	キリスト新聞	10月14日号	キリスト新聞社	2006年10月14日	
デザインとブランドの保護（意匠法と商標法の改正）	宣伝会議	10月15日号	宣伝会議	2006年10月	
凶悪事件を引き起こした高校生 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	12月号	宣伝会議	2006年10月	
望楼（日本ハムファイターズ）	キリスト新聞	11月4日号	キリスト新聞社	2006年11月4日	
住民基本台帳法の改正	宣伝会議	11月15日号	宣伝会議	2006年11月	
絵本を見た幼児の行動が社会問題化 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	1月号	宣伝会議	2006年11月	
望楼（広島国際平和会議）	キリスト新聞	11月25日号	キリスト新聞社	2006年11月25日	
公益法人改革三法の概要 / マスコミ法	宣伝会議	12月15日号	宣伝会議	2006年12月	
望楼（流行語大賞）	キリスト新聞	12月25日号	キリスト新聞社	2006年12月25日	
古本を材料にした土産の団扇 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	2月号	宣伝会議	2006年12月	

自殺対策基本法の施行 / マスコミ法	宣伝会議	1月15日号	宣伝会議	2007年1月	
1953年公開の映画著作権は消滅 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	3月号	宣伝会議	2007年1月	
望楼 (2007年問題)	キリスト新聞	1月27日号	キリスト新聞社	2007年1月27日	
教会の活動にも求められるリスクマネジメント	クリスチャン新聞	1月28日号	クリスチャン新聞	2007年1月28日	
「2007年問題」とメディアの責任	朝日新聞	2月3日号	朝日新聞社	2007年2月3日	
教会活動に必要なリスクマネジメントの視座 (上)	リバイバル新聞	2月11日号	リバイバル新聞社	2007年2月11日	
新しく施行される探偵業法の概要 / マスコミ法	宣伝会議	2月15日号	宣伝会議	2007年2月	
雑誌表紙の有名店とパブリシティ権 / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	4月号	宣伝会議	2007年2月	
教会活動に必要なリスクマネジメントの視座 (下)	リバイバル新聞	2月18日号	リバイバル新聞社	2007年2月18日	
望楼 (熟年離婚)	キリスト新聞	3月10日号	キリスト新聞社	2007年3月10日	
著作権法の改正 / マスコミ法	宣伝会議	3月15日号	宣伝会議	2007年3月	
40年前から続けてきた歌詞に付け加えた語り / 編集者のためのリーガルマインド養成講座	編集会議	5月号	宣伝会議	2007年3月	

### 出席学会等

\*使用資金：A = 外部資金 (資金名)、B : 本学の研究費 (特別研究費、サバティカル研究費、国外研究国内研究旅費、国内研究国内研究旅費の別)、C : 私費

集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
研究会	2002年度4月	京都	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	茶道とキリスト教信仰 (武者小路千家家元)	
研究会	4月	京都	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	魔界京都案内	
研究会	5月	東京	国民生活センター・消費者情報研究会	C	有	テレビショッピングとテレビ局の法的責任	
研究会	5月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
研究会	6月	京都	NCC宗教研究所・祖先崇拜研究会	C	有	親族にかかわる法と祖先崇拜	

研究会	6月	京都	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	茶道とキリスト教信仰（武者小路千家家元）	
研究会	6月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
学会	6月	愛知	宗教法学会	B 国内研究旅費	無		
研究会	7月	青森	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	恐山と日本人の浄土観ノイタコの口寄せと聖書	
研究会	7月	青森	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	戸来村基督伝説と日本人	
研究会	8月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
学会	9月	東京	日本基督教学会	B 国内研究旅費	無		
研究会	9月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
学会	10月	東京	日本私法学会	B 国内研究旅費	無		
研究会	10月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
学会	11月	京都	日本法哲学会	B 国内研究旅費	無		
研究会	11月	東京	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	イスラームと日本人キリスト者	
学会	11月	東京	宗教法学会	B 国内研究旅費	無		
研究会	11月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
研究会	12月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
研究会	2月	千葉	「キリスト教と日本文化」研究会	C	無	（お正月の民俗と信仰）	
研究会	3月	神奈	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	（関帝廟、地藏王廟）	
学会	2003年度6月	京都	宗教法学会	B 国内研究旅費	無		
研究会	6月	奈良	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	（天理教、天理大学、天理教校、天理資料館）	
研究会	6月	奈良	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	（橿原神宮）	
研究会	7月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
研究会	9月	東京	広告と法研究会	B 国内研究旅費	有		
学会	10月	愛知	日本基督教学会	B 国内研究旅費	無		

学会	10月	大阪	日本広告学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	10月	大阪	日本私法学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	11月	東京	宗教法学会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	11月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	11月	埼玉	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	(春日部丘の上記念教会)	
研究会	11月	茨城	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	『茶の本』とキリスト教	
研究会	1月	千葉	「キリスト教と日本文化」研究会	C	有	日蓮と法難	
研究会	2月	埼玉	キリスト教と日本文化研究会	C	有	(雛人形の歴史と民俗)	
研究会	2004年度4月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	5月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
学会	6月	兵庫	宗教法学会	B 国内研究 旅費	有	宗教法人法における宗教法人と宗教団体	
研究会	6月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	7月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	9月	和歌	キリスト教と日本文化研究会	C	有	密教と基督教	
研究会	9月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
学会	11月	千葉	日本広告学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	11月	神奈	宗教法学会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	11月	神奈	キリスト教と日本文化研究会	C	有	(横浜海岸教会、関帝廟、地藏王廟)	
研究会	2005年度5月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
学会	6月	愛知	宗教法学会	B 国内研究 旅費	有	ペット供養課税処分取消訴訟判決と宗教判断基準	
学会	9月	大阪	日本基督教学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	10月	福岡	日本私法学会	B 国内研究 旅費	無		



学会	11月	沖縄	日本広告学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	11月	愛知	日本福音主義神学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	2006年度6月	京都	宗教法学会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	7月	神奈	基督教と日本文化研究 会	C	有	大山信仰と日本人	
学会	9月	和歌	国際密教学術大会	B 国内研究 旅費	無		
学会	9月	東京	日本基督教学会	B 国内研究 旅費	無		
研究会	9月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
研究会	9月	東京	広告と法研究会	B 国内研究 旅費	有		
学会	9月	大阪	日本リスクマネジメン ト学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	10月	大阪	日本私法学会	B 国内研究 旅費	無		
学会	11月	東京	宗教法学会	B 国内研究 旅費	有		
学会	11月	東京	日本リスクマネジメン ト学会	B 国内研究 旅費	無		

**その他の研究活動・社会的活動**

研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか

**2002年度**

4月 東京 聴講 放送と人権シンポジウム 放送と人権等権利に関する委員会機構

5月 茨城 見学 茨城県立天心記念美術館 個人研究

5月 青森 実地 恐山 個人研究

6月 青森 実地 新郷村・キリスト祭 個人研究

6月 京都 訪問 武者小路千家 個人研究

7月 青森 見学 撫島神社、新渡戸稲造記念館、小川原湖民俗博物館 個人研究

8月 東京 実地 東京ジャーミー 個人研究

10月 新潟 実地 佐渡・賚の河原、佐渡博物館 個人研究

10月 千葉 実地 浦部鳥見神社・十二座神楽 個人研究

11月 千葉 実地 千葉地方裁判所、千葉家庭裁判所 個人研究

11月 東京 実地 日経広告研究所 個人研究

**2003年度**

1月 千葉 見学 国立歴史民俗博物館 個人研究

2月 千葉 見学 千葉県立房総のむら 個人研究

3月 神奈 実地 横浜関帝廟、横浜地藏王廟 個人研究

3月 静岡 見学 下田・お吉の墓 個人研究

4月 東京 実地 新聞広告審査協会、リクルート 個人研究

4月 東京 見学 泉岳寺・義士祭 個人研究

4月 東京 見学 新橋演舞場 個人研究

5月 千葉 実地 武西六座念仏講 個人研究

5月 千葉 見学 宗吾霊堂 個人研究

5月 千葉 実地 千葉地方法務局、千葉県警察本部通信指令室 個人研究

6月 千葉 見学 かずさDNA研究所 個人研究

6月 埼玉 見学 岩槻市郷土資料館、埼玉県民俗文化センター、人形歴史館、人形博物館 個人研究

6月 千葉 見学 松戸神社・夏越の大祓 個人研究

7月 愛知 見学 豊川稲荷 個人研究

7月 大阪 見学 ザビエル公園、千利休屋敷跡、仁徳天皇陵 個人研究

7月 兵庫 見学 関帝廟、神戸モスク、関西ユダヤ教団、ジャイナ教寺院 個人研究

7月 東京 実地 日経広告研究所 個人研究

7月 千葉 見学 印旛村歴史民俗資料室 個人研究

7月 千葉 見学 千葉県立関宿城博物館 個人研究

7月 埼玉 見学 丘の上記念教会、在り主庵 個人研究

8月 茨城 見学 茨城県立天心記念美術館、茨城大学五浦美術文化研究所、武山邸 個人研究

9月 東京 実地 国民生活センター 個人研究

9月 新潟 実地 佐渡・日蓮聖跡、キリシタン塚、佐渡歴史伝承館 個人研究

9月 千葉 見学 伊能歌舞伎 個人研究

10月 和歌 見学 高野山金剛峯寺 個人研究

10月 東京 見学 靖國神社 個人研究

10月 東京 見学 PFI ( Prison Friendship International ) 個人研究

11月 千葉 見学 笠寺観音、長南町資料館、鴨川市資料館、須崎神社 個人研究

12月 東京 聴講 学士会 プッシュ政権のアメリカ 学士会

12月 東京 聴講 名古屋大学・東京フォーラム 学術研究と21世紀 名古屋大学

12月 東京 見学 千駄荒神秋の大祭 個人研究

**2004年度**

1月 秋田 見学 武家屋敷資料館、かまくら 個人研究

2月 岐阜 見学 岐阜県立博物館、岐阜県立歴史博物館、各務原市郷土資料館、武芸川郷土資料館、関市日本刀資料館、伊奈波神社 個人研究

2月 和歌 実地 高野山大学密教文化研究所、金剛峯寺、無量光院 個人研究

3月 千葉 実地 印西市歴史資料保管庫 個人研究

4月 奈良 見学 奈良町、庚申堂 個人研究

4月 和歌 実地 高野山大学（4 - 8月） 特別研究期間

4月 東京 聴講 学士会 イラク情勢と自衛官派遣問題 学士会

4月 東京 見学 国立博物館 空海と高野山 個人研究

4月 栃木 見学 ベラウ陶房 個人研究

5月 愛知 見学 名古屋市博物館 マンダラ 個人研究

5月 東京 見学 江戸東京博物館 個人研究

6月 東京 聴講 マスコミ倫理想談会 政治とメディア マスコミ倫理想談会

6月 静岡 見学 石廊崎石室神社 個人研究

6月 兵庫 見学 須磨寺 個人研究

7月 山形 見学 山寺立石寺 個人研究

7月 秋田 見学 真山神社、男鹿真山伝承館、まなはげ館 個人研究

7月 岩手 見学 湯田民俗資料館 個人研究

9月 東京 実地 ドイツ文化会館 個人研究

10月 岩手 見学 岩手県立博物館 個人研究

10月 独逸 実地 Frankfurt, Heidelberg, Stuttgart, Rotenberg, Hanau, Schwangau, Dinkelsberg 特別研究

11月 千葉 見学 袖ヶ浦郷土博物館 個人研究

11月 神奈 見学 相模原市立博物館 個人研究

12月 宮崎 見学 高千穂の里 個人研究

**2005年度**

1月 愛知・三重 実地・見学 相続状況調査、四郷郷土資料館、万古神社 個人研究

1月 千葉 実地 沼南町教育委員会、手賀正教会 個人研究

1月 静岡 実地 稲取吊るし雛 個人研究

2月 三重 実地・見学 相続状況調査、斎宮歴史博物館 個人研究

2月 静岡 見学 下田開国博物館、了仙寺 個人研究

3月 愛知 実地 慈妙院、大和都市管財事件弁護団 個人研究

3月 長崎 実地 五島・大曾教会、福江教会、井持浦教会、頭島教会、切支丹墓地、切支丹洞窟、海童神社 個人研究

3月 中国 実地 杭州・蘇州・無錫・常州・鎮江・揚州・徐州・上海 個人研究
4月 愛知 実地 ペット供養訴訟弁護団 個人研究
4月 東京 見学 上野松坂屋 善通寺展 個人研究
5月 東京 見学 東京国立博物館 ベルリンの至宝展 個人研究
6月 東京 見学 大倉集古館 曼荼羅の世界展 個人研究
6月 東京 見学 江戸東京博物館 新シルクロード展 個人研究
6月 愛知 実地 大和都市管財事件弁護団 個人研究
7月 東京 実地 電子メディアと法懇談会 個人研究
7月 露西 実地 モスクワ・ウラジーミル・スズダリ・サンクトペテルベルグ 個人研究
8月 東京 実地 大和都市管財事件弁護団、AFN被害弁護団 個人研究
8月 中国 実地 北京・鄭州・開封・嵩山・洛陽・西安・上海 個人研究
9月 大阪 見学 国立民族学博物館、奈良県民俗博物館 個人研究
9月 奈良 見学 生駒聖天 個人研究
10月 東京 実地 AFN被害弁護団 個人研究
10月 東京 実地 産業広告アカデミー 日本産業広告協会
10月 福岡 見学 金千寺、千如院、太宰府天満宮、宗像神社 個人研究
10月 米国 聴講 海外有権者ネットワーク 海外から一票を・最高裁勝訴報告 個人研究
11月 沖縄 見学 宜野座村立博物館、今帰仁村歴史文化センター、恩納村博物館 個人研究
11月 千葉 見学 千葉県立中央博物館 個人研究
11月 愛知 見学 大須観音、東別院、切支丹遺跡博物館、熱田神宮 個人研究
12月 千葉 見学 日本寺、鶴崎神社・磯辺神社・八王子神社・浅間神社・田子台遺跡 個人研究
<b>2006年度</b>
1月 茨城 実地 幸福の科学・元理事長 個人研究
2月 愛媛 見学 四国札所53?45番 個人研究
2月 東京 聴講 ヨーロッパの祭 個人研究
3月 愛知 実地 名古屋高等裁判所 ペット供養訴訟判決 個人研究
3月 和歌 実地 高野山大学大学院(7月) 特別研究期間
3月 中国 実地 福建省・浙江省 特別研究期間
4月 千葉 見学 須賀ハリストス正教会、飯高壇林 個人研究
4月 東京 実地 カナンコーポ、フレアアセット 個人研究
6月 京都 見学 伏見稲荷大社 個人研究
7月 千葉 実地 成田山仏教図書館 個人研究

8月 熊本・長崎 実地 天草・切支丹記念館、サンタマリア館、首塚、大江天主堂、崎津天主堂、コレジオ館、天草四郎メモリアルホール、原城跡、日本26聖人殉教の地、熊本城、熊本博物館 個人研究
8月 千葉 実地 成田山仏教図書館 個人研究
8月 米国 実地 チャロモヴィレッジ、セントメアリーカセドラル、グアム大学 個人研究
9月 滋賀・京都 見学 石山寺、高尾山神護寺、東寺 個人研究
9月 和歌 見学 苅萱堂（河童のミイラ） 個人研究
9月 東京 見学 靖國神社、千鳥が淵戦没者墓苑 個人研究
10月 千葉 見学 白子町立歴史民俗資料室、茂原市立郷土資料館 個人研究
11月 広島 見学 広島市郷土資料館、原爆ドーム、原爆被害者慰霊碑、世界平和記念聖堂 個人研究
11月 広島 聴講 広島国際平和会議 個人研究
11月 広島 聴講 平和の祈り 個人研究
11月 東京 実地 創価学会本部、国際会館、聖教新聞社、民音音楽博物館 個人研究
11月 大阪 聴講 リスクマネジメント講座 大阪能率協会
12月 千葉 見学 清澄寺、誕生寺、仁右衛門島 個人研究
1月 和歌 実地 高野山大学大学院（3月） 特別研究期間
3月 高知 見学 御厨人窟、最御崎寺、不動岩、奈半利民家、安芸市立歴史民俗資料館、高知県立歴史民俗博物館 特別研究期間
3月 中国 実地 北京 特別研究期間

#### 外部研究費

資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況

研究業績報告 2002 - 2006年度		J. ランドル・ショート 講師					
単行本							
書名	タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
論文・記事							
タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
Editorial	<i>KIATS Theological Journal</i>	Vol. II No. 2, pp. 247-49	Seoul: Korea Institute for Advanced Theological Studies	2006	Co-authored with Jae-Hyun Kim		
出席学会等 <small>*使用資金：A = 外部資金 (資金名)、B : 本学の研究費 (特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費</small>							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
Christian Religion in China and Korea: Reception and Development (Peking-KIATS Conference, Fall 2006)	2006.9.22	北京 (北京大学)	The Department of Religious Studies, Peking University, and the Korea Institute for Advanced Theological Studies	AとB (Aの部分はKIATSから)	有	Japanese Christian Perspectives on 'the Yasukuni Issue'	
福音主義神学会東部部会聖書学部門	2007.1.22	東京	福音主義神学会	B国内研究旅費	有	The History of David's Rise as an Answer to 'Charges' Against David? Reconsidering the Rhetorical Posture of the Biblical Account	
その他の研究活動・社会的活動 <small>研究会 (参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか</small>							
外部研究費							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		

研究業績報告 2002 - 2006年度		杉谷乃百合		准教授			
単行本							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
論文・記事							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
アメリカの道徳教育－Character Educationが示すスピリチュアリティの不在	Emergence 創発	11 - 1・2号合併号	共立基督教研究所	2006			
出席学会等							
*使用資金：A = 外部資金(資金名)、B：本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C：私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
The Humanitarian Analyses of Condition and Perspectives of Development of Higher Education Conference	2006 10	Sochi, Russia	The Black Sea Humanitarian Academy	C	有	Self-Regulation and On-Campus Living Experience	
The Shuya State Pedagogical University Conference	2006 10	Shuya, Russia	The Shuya Pedagogical University	C	有	Self-Regulation	
Continuity + Change: Perspectives on Science and Religion	2006.6	Philadelphia, Pennsylvania	Metanexus Institute	A・B LSI 助成 + 共立基督教研究所	無		
American Educational Research Association 2006 Annual Meeting	2006.4	San Francisco, USA	American Educational Research Association	C	無		
Science and Religion: Global Perspectives	2005.6	Philadelphia, Pennsylvania	Metanexus Institute	A・B LSI 助成 + 共立基督教研究所	無		

**その他の研究活動・社会的活動**

研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか

Seattle Pacific University (Seattle, WA, USA)における博士課程に2004年10月より取り組み、社会認知心理学の視点より「自己制御」と「キャンパスリビング」に関する研究を継続中

「科学と宗教」研究会所属、2007年4月「自己制御学習と寮教育」発表

日本学生相談学会、日本心理臨床学会、American Educational Research Association (AERA)学会会員

**外部研究費**

資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況



研究業績報告 2002 - 2006年度		Frank Tuzi 准教授		2004年9月着任			
<b>単行本</b>							
書名		タイトル(共著等の場合)		編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考
<b>論文・記事</b>							
タイトル		発表媒体(学会誌・雑誌名等)		巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考
Tracking and charging for printing with PyKota		Open Source Technology Group website				2006	
DRBL: A quick and easy thin client server		Open Source Technology Group website				2006	
Enhancing second language acquisition with Audacity		OSTG website				2006	
Educators can manage course content with Moodle		OSTG website				2007	
Collaborative L2 Writing: An Analysis of Forms of Response and Feedback that Impact the Second Language Writing Process		2007 Humanities Review of Kwansai Gakuen University				2007	
<b>出席学会等</b> *使用資金：A = 外部資金(資金名)、B : 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
Spring 2005 CAL'05 Virtual Learning conference	2005	Bristol, UK		B国外研究旅費	有	The Magnificent Seven: Intercontinental web-based writing and responding	
spring conference of the International Academy of Business and Information Technology	2005	Pittsburgh, PA			有	Open Source for Business: An Overview	
January Christians in English Language Teaching conference	2006	Payap University in Chiangmai, Thailand		B国外研究旅費	有	Open Source in Language Education: A Christian Perspective	
						Go to Commercial. Using TV commercials to teach English	
annual JALT conference	2006	Kitakyusyu, Japan		B国内研究旅費	有	Expanding opportunities via authentic MP3s	

						E-Learning in Japan: Converting the old and making the new	
						Moodle, MP3 and Flash on the Brain: Open Source in Language Education	
						Culture and Values in TV Commercials	
2007 annual TESOL conference	2007	Seattle, WA		B国外研究旅費	有	Culture and Values in TV commercials	
2007 annual Task-based language teaching conference	2007	Honolulu, HI		B国外研究旅費	有	Blended tasks: Face-to-face and online task development	
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>				研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか			
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		

研究業績報告 2002 - 2006年度		天田 繁		特任教授			
<b>単行本</b>							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
<b>論文・記事</b>							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
<b>論文発表</b>							
斉唱賛美と合唱賛美の並存の可能性	R・C・Aジャーナル	第10号		2002			
『新聖歌』の編集に携わって - 過去・現在・未来	福音主義神学	第35号	日本福音主義神学会	2004.12.15			
<b>作曲作品</b>							
佐藤一枝作詞 クリスマスカンタータ「その名はインマヌエル」	初演：東京キリスト教学園チャペル			2003 10			
小形真訓作詞 混声合唱曲「四季の恵み」	初演：東京キリスト教学園			2004 10			
佐藤一枝作詞 結婚カンタータ「祝ませ 愛のみ神よ」	初演：東京キリスト教学園チャペル		2005年	2005 10			
<b>楽譜出版</b>							
佐藤一枝作詞 クリスマスカンタータ「その名はインマヌエル」			自費出版	2003.7.1			
聖書カンタータ「汝が神はわが神なり」			いのちのことば社	2004.9.10			
<b>CD制作</b>							
佐藤一枝作詞 クリスマスカンタータ「その名はインマヌエル」	於 東京キリスト教学園チャペル		自費製作	2003.7.1			
<b>出席学会等</b>							
* 使用資金：A = 外部資金(資金名)、B : 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況				

研究業績報告 2006年度		豊川 慎 助手		* 2005年度より着任			
単行本							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
アリストター・マクグラス『キリスト教の霊性』		稲垣久和・岩田三枝子共訳	教文館	2006.2	翻訳書		
ステパノ・フランクリン『キリスト教世界観とリベラルアーツ - 日本におけるキリスト教大学のアイデンティティ』			東京基督教大学	2006.3	翻訳書		
論文・記事							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
書評：木原活信『対人援助の福祉エートス』	Emergence 創発	10巻3号	共立基督教研究所	2005.11			
リベラル・デモクラシーにおける政治認識とキリスト教民主主義の政治思想序説	キリストと世界	17号	東京基督教大学	2007.3			
出席学会等 <span style="float: right;">* 使用資金：A = 外部資金(資金名)、B：本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C：私費</span>							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
日本平和学会春季研究大会	2006.6.10-11	明治学院大学	日本平和学会	B国内研究旅費	無		
福音主義神学会東部部会春季研究会	2006.6.19	OCC	福音主義神学会東部部会	B国内研究旅費	無		
キリスト教文化学会	2006.6.30-7.1	酪農学園大学	キリスト教文化学会	B共立基督教研究所	無		
2006年世界政治学会・福岡大会	2006.7.9-13	福岡国際会議場	世界政治学会・日本政治学会	B国内研究旅費	無		
日本カルヴィニスト協会講演会	2006.7.17	神港教会	日本カルヴィニスト協会	B国内研究旅費	有	カナダ・オランダ留学を通して学んだこと	
日本基督教学会全国大会	2006.9.21-22	上智大学	日本基督教学会	B共立基督教研究所	無		
第3回南原繁シンポジウム	2007.11.18	学士会館	南原繁研究会	B共立基督教研究所	有	内村鑑三 - 南原繁の内村観	
日本カルヴィニスト協会関東地区例会	2007.1.16	東京恩寵教会	日本カルヴィニスト協会関東部会	C	有	歴史、記憶、和解 - 「宗教の公共性」研究会の報告をもとに	
日本基督教学会関東支部会	2007.3.17	立教大学	日本基督教学会関東支部会	B共立基督教研究所	有	キリスト教、デモクラシー、市民的公共性 - 西欧キリスト教民主主義の政治思想という観点から	

**その他の研究活動・社会的活動**

研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか

**外部研究費**

資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況

研究業績報告 2002 - 2006年度		西岡 力		教授	
単行本					
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考
テロ国家 北朝鮮に騙されるな			PHP研究所	2002.11	
金正日が仕掛けた対日大謀略 拉致の実態			徳間書店	2002.10	
拉致家族との6年戦争			扶桑社	2002.12	
北朝鮮に取り込まれる韓国			PHP研究所	2004.3	
日韓歴史問題の実態			PHP研究所	2005.6	
韓国分裂			扶桑社	2005.8	
北朝鮮の核 拉致 は解決できる			PHP研究所	2006.12	
よくわかる慰安婦問題			草思社	2007.6	
論文・記事					
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考
なぜ不審船は沖縄沖で沈んだか - アメリカのテロ討伐圧力に脅え暴走を始めた北朝鮮	Voice		PHP研究所	2002.3	
急進左翼盧武鉉候補登場の持つ意味	現代코리아		現代코리아研究所	2002.7	
安否情報はでっち上げた - 裏付け調査もせず人の生死を軽んじる外務省の大罪	Voice		PHP研究所	2002.11	
死亡4人に確実な生存情報	文藝春秋		文藝春秋	2002.11	
盧武鉉当選をどう見るか - 憂慮される反米民族主義	現代코리아		現代코리아研究所	2002.12	
帰国5人 金王朝謀略の構図 - 歓迎ムードの裏で金正日との謀略戦が始まった	文藝春秋		文藝春秋	2002.12	
迫り来る日本の危機 北朝鮮の核恫喝と日米同盟崩壊	正論		扶桑社	2003.2	
北朝鮮による日本人拉致被害者の規模	現代코리아		現代코리아研究所	2003.4	

左傾化韓国にはびこる反韓自虐史観と親北教育	正論		扶桑社	2003.8	
覆面をとったTK生 韓国からの通信 恥知らずの良心	諸君		文藝春秋	2003.1	
曾我ひとみさんの言葉に隠された悲劇	正論		扶桑社	2004.1	
北京交渉に同席して分かった北朝鮮の手口	正論		扶桑社	2004.3	
日朝平壤会談ではっきりわかった日本の圧力の効果	Voice		PHP研究所	2004.4	
北朝鮮韓国総選挙工作指令を読んで	正論		扶桑社	2004.4	
再び北朝鮮の核への対応を問う - 深刻化する危機に鈍感な日本	正論		扶桑社	2004.5	
韓国 与党勝利を演出した反韓史観の脅威	正論		扶桑社	2004.6	
総理はカードを切りすぎた - 圧力なくして残る被害者を取り戻すことができるか	Voice		PHP研究所	2004.7	
危機に立つ拉致被害者救出運動 北朝鮮の仕掛ける対日謀略戦を打ち破れ	正論		扶桑社	2004.8	
日本はいま有事だ - 拉致救出運動から見えてきたもの	日本文化		拓殖大学日本文化研究所	2004.冬	
虚偽まみれの北朝鮮と正念場の拉致問題	正論		扶桑社	2005.1	
拉致救出の現状と問題点	現代コリア		現代コリア研究所	2005.4	
対韓関係が国家安全保障問題となる日	正論		扶桑社	2005.6	
平和の闘士 金大中 前韓国大統領の過去	正論		扶桑社	2005.9	
六者協議共同声明で動き始めた拉致問題 - 経済制裁圧力ですべての拉致被害者を救出せよ	正論		扶桑社	2005.11	
不安定化する朝鮮半島と日本の対応	現代コリア		現代コリア研究所	2006.1 2	
南北執権者の謀略 2006年連邦制事変は起きるのか	現代コリア		現代コリア研究所	2006.4	
反日 包囲網は理念外交で乗り越えられる	正論		扶桑社	2006.6	

北朝鮮への制裁は効いている - 安倍長官の 拉致問題特命 チーム による成果の数々	Voice		PHP研究 所	2006.1	
中国は拉致問題を無視した - 金融制裁で金正日を追い詰める 日米の邪魔を許すな	Voice		PHP研究 所	2006.11	
止まぬ歴史糾弾 理念外交への転換が急務だ	正論		扶桑社	2006.11	
六カ国協議 日本は置き去りにされたのか	正論		扶桑社	2007.4	
捏造で国を売る朝日新聞	Will		ワック出版	2007.5	
北朝鮮には圧力をかけ続けるしかない	正論		扶桑社	2007.8	

### 出席学会等

\* 使用資金：A = 外部資金（資金名）、B：本学の研究費（特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別）、C：私費

集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考

### その他の研究活動・社会的活動

研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか

1997年から現在までNGO「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会」の幹事、事務局長、副会長などを勤める。

### 外部研究費

資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況



<b>研究業績報告 2002 - 2006年度</b>		<b>Stephen Franklin</b>		<b>教授</b>			
<b>単行本</b>							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
キリスト教世界観とリベラルアーツ - 日本におけるキリスト教大学のアイデンティティ		豊川慎訳	東京基督教大学	2006			
<b>論文・記事</b>							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
<b>出席学会等</b>							
*使用資金：A = 外部資金(資金名)、B：本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C：私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況				

研究業績報告 2002 - 2006年度		Joseph Poulshock		教授			
<b>単行本</b>							
書名	タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
The Evolution of Language: Proceedings of the 6th International Conference.	The Evolution of Language: Proceedings of the 6th International Conference.	Cangelosi, A., Smith, K. and Smith A.	World Scientific Publishing Company.	2006	Book Chapter by Poulshock, J.		
Evolution and ethics: Human morality in biological and religious perspective.	The leverage of language on altruism and morality.	Clayton, P., & Schloss, J. P.	Erdmans	2004	Book Chapter by Poulshock, J.		
<b>論文・記事</b>							
タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
モラルのリアリティと言語	Emergence 創発	11: 1: 21-25.	共立基督教研究所	2006	Article		
Four Haiku/Haiga	Simply Haiku: A Quarterly Journal of Haiku and Related Forms.	Spring 2005, 3:1	Simply Haiku	2005	Poetry		
Materializing Anthropological Knowledge.	Current Anthropology	43:5	University of Chicago	2002	Article Response		
Evolutionary Theology and God Memes: Explaining Everything or Nothing.	Zygon, Journal of Science and Religion	37:4, 775-778	Journal	2002	Article		
Meme Schemes: Problems and Potentials in Memetics.	Journal of Psychology and Theology	30:1, 68-80	Journal	2002	Article		
Universal Darwinism and the Potential of Memetics	Quarterly Review of Biology	77:2, 174-175	Journal	2002	Book Review		
<b>出席学会等</b> *使用資金：A = 外部資金 (資金名)、B : 本学の研究費 (特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
The Evolution of Language 6th International Conference	2006.4.14	Rome	EVOLANG	Research	Present	Language as a precursor to the evolution of morality.	Presented a paper
<b>その他の研究活動・社会的活動</b> 研究会 (参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか							
Study meeting, Investigative action、科学と宗教研究会 (共立基督教研究所)、その他							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名	研究の成果・進捗状況				

研究業績報告 2002 - 2006年度		宮脇聡史		准教授			
<b>単行本</b>							
書名	タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考		
イレート、ラファエル、キブイエン『フィリピン歴史研究と植民地言説』		永野善子編・監訳	めこん	2004	翻訳書		
イレート『キリスト受難史と革命 1840～1910年のフィリピン民衆運動』		清水展・永野善子(監修)、川田牧人、高野邦夫(共訳)	法政大学出版局	2005	翻訳書		
<b>論文・記事</b>							
タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考		
「現代フィリピン・カトリック教会の教理教育」	東洋文化研究所紀要	143		2003.3			
「『キリスト教国フィリピン』の現代カトリック教会の社会観・社会関与」	キリストと世界	13		2003.3			
「フィリピン・カトリック教会にとっての『EDSA』」	東洋文化研究所紀要	148		2004.12			
「フィリピン・カトリック教会の見る『フィリピン』」	キリストと世界	16		2005.3			
『現代フィリピン・カトリック教会の政治・社会参与と教会刷新』	東京大学大学院総合文化研究科			2006.3	博士学位論文		
<b>出席学会等</b>							
*使用資金：A = 外部資金(資金名)、B : 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
東南アジア史学会第65回研究大会	2001.6.2-3	東京女子大学	東南アジア史学会	C	有	フィリピン・カトリック司教協議会の「公共宗教」としての戦略	
アジア政経学会第42回東日本大会	2001.6.9	山梨学院大学	アジア政経学会	C	有	フィリピン・カトリック教会の社会観と信徒動員	
第8回フィリピン研究会全国フォーラム	2003.6.28-29	静岡県立大学	全国フォーラム準備委員会	B 国内研究旅費	有	フィリピン・カトリック教会の見る「フィリピン」	
Third International Convention of Asia Scholars	2003.8.19-22	Raffles City Convention Centre, Singapore	Organizing Committee, ICAS3, Faculty of Arts and Social Sciences, National University of Singapore	B 国外研究旅費	有	Incorporating Folk Religiosity: Philippine Catholic Church's Discourse Strategy on Popular Devotion	

7th International Conference on Philippine Studies	2004.6.6-9	International Institute of Asian Studies (IIAS), Leiden	International Board of Philippine Studies Conferences	B 国外研究旅費	有	Catholic Church on "EDSA": Ecclesial Context, National Strategy, and Socio-Political Impact	
First Philippine Studies Conference of Japan	2006.11.11-12	Tokyo Green Palace, Yotsuya/Ichigaya, Tokyo	Organizing Committee of The First Philippine Studies Conference of Japan	C	有	Who are "Others" for Catholic Church? - Preliminary Analyses	
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>				研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか			
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		

<b>研究業績報告 2002 - 2006年度</b>		<b>森 恵子</b>		<b>講師</b>			
<b>単行本</b>							
書名		タイトル(共著等の場合)		編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考
<b>論文・記事</b>							
タイトル		発表媒体(学会誌・雑誌名等)		巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考
<b>出席学会等</b>							
*使用資金：A = 外部資金(資金名)、B : 大学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
TESOL Annual Convention	2002.4.9 -13	Salt Lake City, Utah	TESOL	B国外研究 旅費	なし		
第17回JALT 群馬夏季草津ワー クショップ	2005.8.2 7-28	群馬県草津	JALT	B国内研究 旅費	あり	Toward Independent Learning Through Extensive Reading	
Christians in English Language Teaching	2006.1.2 3-25	Chiang Mai, Thailand	CELT	B国外研究 旅費	あり	Go to Commercial	同僚2名との共同発 表
TESOL Annual Convention	2007.3.2 1-24	Seattle, Washington	TESOL	B国外研究 旅費	あり	Culture and Values in TV Commercials	同僚2名との共同発 表
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか							
TESOL会員、JALT会員							
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名		研究の成果・進捗状況			

研究業績報告 2002 - 2006年度		柳沢美和子		准教授			
単行本							
書名		タイトル (共著等の場合)		編者・共著者	発行元	発行年	要旨・備考
論文・記事							
タイトル		発表媒体 (学会誌・雑誌名等)		巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日	備考
Exploring JSL-Learners' "Language Socialization"		Electronic Journal of Foreign Language Teaching ( <a href="http://e-flt.nus.edu.sg/main.htm">http://e-flt.nus.edu.sg/main.htm</a> )		Vol. 2, No. 2	Singapore: The Centre for Language Studies, the National University of Singapore	2005.12	
出席学会等							
* 使用資金 : A = 外部資金 (資金名)、B : 本学の研究費 (特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費							
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル	備考
The 2003 American Association for Applied Linguistics (AAAL) Conference	2003.3.22-25	Arlington, VA, USA	AAAL	B 国外研究旅費	有	Narrative as moral problem-solving discourse: Analyzing Japanese-speaking Christian testimonies	
The Inaugural Center for Language Studies International Conference (CLaSIC) 2004	2004.12.1-3	Singapore	The Center for Language Studies, the National University of Singapore	C	有	Exploring JSL-learners' "language socialization"	
The 14th World Congress of Applied Linguistics: AILA 2005	2005.7.24-29	Madison, WI, USA	AAAL & the UW-Madison Center for International Business Education and Research (CIBER)	B 国外研究旅費	有	Exploring social identity: Language socialization in narrative	

LangScape conference	2006.4.27 -28	Singapore	The English Language & Literature Academic Group on the National Institute of Education & the Singapore Teachers' Union	B 国外研究旅費	有	Exploring second language socialization	
Joint American Association for Applied Linguistics (AAAL) & Association canadienne de linguistique appliquee/Canadian Association of Applied Linguistics (ACLA/CAAL) Conference 2006	2006.6.17 -20	Montreal, Canada	AAAL & ACLA/CAAL	B 国外研究旅費	有	Exploring social identity in heteroglossic narrative discourse	
The second Center for Language Studies International Conference (CLaSIC) 2006	2006.12.7 -9	Singapore	The Center for Language Studies, the National University of Singapore	C	有	Exploring the process of second-language socialization	
The 17th International Conference on Pragmatics & Language Learning	2007.3.26 -28	Honolulu, HI, USA	National Foreign Language Resource Center	C	有	Second-language socialization: Examining JSL-learners' socialization to the L1-Discourse	
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>							
						研究会（参加・活動した研究会について記載）、調査活動 ほか	
<b>外部研究費</b>							
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況		

<b>研究業績報告 2006年度</b>		<b>大和昌平</b>		<b>講師</b>		
<b>単行本</b>						
書名		タイトル(共著等の場合)		編者・共著者	発行元	発行年
<b>論文・記事</b>						
タイトル		発表媒体(学会誌・雑誌名等)		巻・号・通巻号数	編集・発行	発行年月日
無宗教日本社会にキリスト教葬儀のくさびを		2006近畿宣教教会会議			2006近畿宣教教会会議 実行委員会	2006.11.21
「権威」を帯びない牧会者の権威 - 日本文化の問題として		牧会ジャーナル		No.32	牧会ジャーナル編集委員会	2006.9.1
般若心経小考		基督神学		第19号	東京基督神学校	2007.3.1
<b>出席学会等</b>						
*使用資金：A = 外部資金(資金名)、B : 本学の研究費(特別研究費、サバティカル研究費、国外研究旅費、国内研究旅費の別)、C : 私費						
集会名	開催期間	開催地	主催	使用した資金	発表等の有無	発表・展示のタイトル
<b>その他の研究活動・社会的活動</b>						
研究会(参加・活動した研究会について記載)、調査活動 ほか						
<b>外部研究費</b>						
資金名	提供者	研究課題名			研究の成果・進捗状況	